

備中高松城水攻め関連遺跡

高松城水攻め鳴谷川遺跡 附工事奉行の墓



指定区分	県指定史跡
読みかた	たかまつじょうみずぜめなるたにがわいせき つけたりこうじぶぎょうのはか
所在地	岡山市北区長野
指定年月日	昭和39年12月2日
解説	羽柴秀吉による備中高松城水攻めの際、平地の足守川だけでなく、城背後の山間を流れる鳴谷川をせき止めて水を引き入れることが計画された。導水工事は城の攻略に間に合わず未完に終わり、この工事を担当した奉行が切腹したと伝えられている。現在は工事で動かした割石、水路の一部及び工事奉行の墓が残っている。
アクセス方法	JR備中高松駅から約4Km
公開状況	自由
設備	
備考	国指定史跡「高松城跡 附水攻築堤跡」の記事参照。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	高松城水攻め鳴谷川遺跡 附工事奉行の墓
よみかた	たかまつじょうみずぜめなるたにがわいせき つけたりこうじぶぎょうのはか
しょざいち (所在地)	岡山市北区長野
していしたひ (指定した日)	昭和39年12月2日
せつめい	羽柴秀吉(はしばひでよし)によって備中高松城(びっちゅうたかまつじょう)に水攻(みずぜ)めが行われました。城は攻略(こうりやく)されましたが、鳴谷川(なるたにがわ)の工事(こうじ)が間に合わなかったため、この工事を担当(たんとう)した奉行(ぶぎょう)が切腹(せつぶく)したと伝えられています。